

第1回

実践臨床薬学セミナー

～薬学管理のアプローチポイントを高める～

2022年

2月26日 土曜日

15:00～17:30(予定)

視聴
無料

WEB(Zoom)での
オンライン開催

※先着300名 事前予約制

近年、アレルギー疾患は全世界的かつ全年齢層で増加傾向にあります。病態の解明に伴い、薬物治療・管理方法の進展により、今後、疾患のコントロールの改善、従来困難であったケースにおいてもQOLの向上など明るい方向性の視野が広がってきております。

新薬等の薬物治療の適正化を図る上で、薬剤師の介入と適格なモニタリング、患者個々のニーズに合った指導説明がきわめて重要であり、治療効果に大きく寄与することは既知の通りでございます。

第1回の本セミナーにおいては、文部科学省が掲げる薬学教育に重要とされる代表的な8疾患のうち「免疫・アレルギー疾患」に焦点をあて『**継続的な薬学管理におけるアプローチポイントなどの修得**』を目標とした形式で開催いたします。

特に近年(2020年以降)、関節リウマチなどの自己免疫疾患で既に保険適応化されている生物学的製剤(主にモノクローナル抗体製剤)やヤヌスキナーゼ(JAK)阻害薬などもアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎の治療に、一部保険適応化され効果が期待されています。それらの新薬を踏まえた最新の薬物治療についてご紹介いたします。

講演
内容

- 【オープニング・リマークス】朝倉 俊成(臨床薬学教育研究センター センター長・教授)
- 【講演】座長:新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター 准教授 齊藤 幹央
 - 講演1 <アトピー性皮膚炎における最新治療>
演者:横浜市立市民病院皮膚科部長 蒲原 毅 先生(元横浜市立大学附属市民総合医療センター准教授)
 - 講演2 <アレルギー性鼻炎-最近の検査・治療を含めて->
演者:空港前クリニック院長 川崎 克 先生(新潟県耳鼻咽喉科医学会学術委員会委員長)
 - 講演3 <薬剤師が行うべき皮膚アレルギー疾患患者への対応>
演者:公益財団法人佐々木研究所 大谷 道輝 先生
 - 講演4 <事例から学ぶアレルギー疾患患者への対応>
演者:笹菊薬品(株)石川調剤薬局 五十嵐 丈二 先生(日本小児臨床アレルギー学会認定PAE)
- 【総合討論】
- 【クロージング・リマークス】坂爪 重明(臨床薬学研究教育センター 副センター長・教授)

受講
申込

- 【参加費】無料(新潟薬科大学生涯研修認定制度:1単位を発行いたします)
- 【参加要件】「受講者氏名」「電話番号」「所属医療機関名」「薬剤師免許登録番号」「Zoomで使用するメールアドレス」を二次元コードにご登録、またはrinsyo-info@nupals.ac.jpまでお送りください。

申込期限 2月24日まで

先着300名まで(参加者多数の場合はご了承下さい)



お申込みはこちら

○後日、ご登録いただきましたE-MailにZoom参加のご案内の連絡をさせていただきます。

〈その他、ご不明な点に関する問い合わせ先〉
新潟薬科大学事務部教務課(0250-25-5203)



Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences

新潟薬科大学